

特定非営利活動法人日本オリンピックズ協会

# OAJ NEWS

Olympians Association of Japan

vol. 2022 **39**



スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業



すべて© PHOTO KISHIMOTO

第24回オリンピック冬季競技大会(2022/北京)は、2022年2月4日から20日までの17日間、史上初の夏季・冬季オリンピック開催都市となる、中華人民共和国の北京市で開催された。7競技109種目(史上最多)に、91か国・地域から約3,000名の選手が参加。

昨年の東京2020大会に続き新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、厳格な「バブル方式」による大会となったが、TEAM JAPAN(日本代表選手団)は、冬季大会最多となる総数18個のメダルを獲得。

本号では北京2022大会に参加した選手のみならず、様々な形で大会に関わったオリンピックの皆さんの声をお届けします。

# 第24回オリンピック冬季競技大会(2022/北京)

## ●スピードスケート

### 高木美帆 OLY (TEAM JAPAN 主将)



#### 一緒に走るということ

2022年2月に行われた北京冬季オリンピック。私は約2週間半の間に5種目計7レースに出場した。この種目数への出場を決めたときの想像を絶するほど、実際の大会期間は壮絶だった。ただ、どんなにしんどい時間が長く続いても、「楽しい」という気持ちは消えなかった。それはきっと、共に走ってくれる人がたくさんいたから。自分のことのように真剣に私の課題解決へ取り組んでくれて、私が逆に心配してしまうほどの顔で見守っていてくれて、最後の最後まで、私の背中を押し続けてくれた。一人ではきっと背負いきれず超えきれなかった壁もたくさんあっただろう。そしてそれは日本から応援してくれる人たちも同じだった。顔も声も直接感じられなくても、届く思いがたくさんあった。だから私は、最後の1,000m、待ち受けている結果がどんなものか臆することなく、最初の一步から全力で最後まで走りきれたのだと、時間がたてばたつほど感じる。そんな思いを感じることができて、本当に幸せなオリンピックだった。皆と一緒に走りきる。これだけは、1人では絶対に成し遂げられない最高の瞬間のひとつだと私は感じている。



© PHOTO KISHIMOTO

## ●ノルディック複合

### 渡部暁斗 OLY (TEAM JAPAN 旗手)



北京冬季オリンピックへの4年間は強烈に金メダルを意識した時間でした。世界一と呼ばれる選手像という漠然とした姿を追い求めてきた自分にとって、結果にこだわることある意味自分らしくない時間でもありました。「どんなレースが面白い」「どんな選手が世界一と呼ばれるのに相応しいのか」と考え、それを体現する為に競技と向き合ってきた自分にとって、オリンピックはあちらから向かってきて、通り過ぎていく。そんな関係でした。今回はその考え方から一旦離れ、自分からオリンピックへ向かうことにしたのです。

そんな矢先のコロナ禍。自分のことやスポーツのこと、今まで普通だったことがそうでなくなり、様々な「普通」を見直すきっかけになりました。その時に見た東京オリンピック。活躍する選手から沢山の刺激を受けました。特に新種目の選手達は、真剣にスポーツと向き合っているのだけど、それを楽しんでいるのが画面越しに伝わってきました。

結果にこだわろうとしていた自分の考えが、とてもちっぽけに思えたことを覚えています。東京2020大会からは、スポーツのあるべき姿を見せてもらったと思います。自分は北京で何ができるのか。

目標に掲げていた金メダル獲得は達成できませんでしたが、オリンピックを通して競技の面白さや自分のレースに対する姿勢等、メダル以上に大切なことを観てもらえたのではないかとと思っています。スポーツの価値はメダルの色では決まらない。そう思えたオリンピックになりました。



## ●カーリング

### 石崎琴美 OLY



私個人として12年ぶりに出場した北京冬季オリンピックは一言で表すなら「感謝」のオリンピックでした。オリンピックの出場をかけた国内代表決定戦と世界最終予選、そして北京オリンピックでチーム全員誰一人欠けることなく最後まで自分が任されたポジションの役割を全うすることができたこと。コロナ禍ということもありいつも以上に精神的にも不安がある中チームでその不安も一つ一つ解消し乗り越えることができたこと。応援してくださる皆さんが背中を押して下さったこと。もあり私たちは北京オリンピック最終日まで私たちらしいプレーをアイスの上から表現できたと思っています。「人間力なくして競技力向上なし」この言葉をいつも胸に刻んでこれからもチームワークを大切に支えてくださる方への感謝の気持ちを忘れず世界一のチームになるため日々最高の準備を積み重ねていきたいです。



## ●アイスホッケー

### 米山知奈 OLY



北京冬季オリンピックは、新型コロナウイルスの影響による毎日の検査実施や感染対策など、今までとは異なる環境での大会でした。チームは目標のメダルに届かず、強豪国との差を実感する6位でしたが、厳しい世界情勢の中でもオリンピックが無事に開催されたこと、現地ボランティアの親切な対応やSNSなどを通じての日本からの応援は、私たちが積み重ねたものを発揮する大きな後押しとなり、初の決勝トーナメント進出に繋がりました。ありがとうございました。



© PHOTO KISHIMOTO

## ●リュージュ

### 小林誠也 OLY



今回初めて出場したオリンピックでは、自分の滑りが思うようにできず、結果・内容ともに悔いの残るものになりました。しかし、試合が終わり地元の長野に帰ると、私の試合を見てくださった方から「感動しました。私も頑張れば何でもできると、あきらめかけていた夢に再挑戦し始めました。」と言葉をかけて頂き、オリンピックに挑戦できてよかったと思いました。このとき私は、勝ち負けだけではなく、スポーツの価値というものをとても身近に感じました。まだまだ日本ではリュージュはマイナー競技ですが、私はリュージュと共に、スポーツの価値をより多くの方に伝えていきたいと思っています。



## TEAM JAPAN 選手団

選手数……………124名  
監督・コーチ等 ……138名  
金メダル……………3  
銀メダル……………6  
銅メダル……………9  
入賞……………25



## ●大会概要

期間	2022年2月4日～2月20日(16日間)
開催地	中国・北京 他
実施競技・種目	7競技109種目

# 北京冬季オリンピックに関わったオリンピック

## ●オリンピック(スキージャンプ)

原田雅彦 OLY (TEAM JAPAN 総監督) ●アルペールビル、リレハンメル、長野、ソルトレイクシティ、トリノ大会

### 北京2022冬季大会であらためて感じたオリンピックの魅力

北京冬季オリンピックは、本年2月4日から22日までの17日間、中華人民共和国で開催されました。私自身、1998年日本で2度目の冬季大会開催となる長野大会の他、合計5回のオリンピックに選手として出場してきましたが、今回は、はじめてTEAM JAPAN(日本代表選手団)の総監督としての参加となりました。

東京2020大会同様コロナ禍での開催となり、多くの選手は、ほぼ2シーズンに渡り、思うよう国際大会が開催されない中で、各選手がベストパフォーマンスを出せるのかと心配した部分もありましたが、結果的に金メダル3個、銀メダル6個、銅メダル9個の合計18個を獲得し、オリンピック冬季競技大会における過去最多の成績となりました。

苦しい中で良い結果が出せたことの要因の一つとして、コロナ禍で1年延期となった東京2020大会でのTEAM JAPANの活躍やその大会に出場した多くの選手から、夏季競技・冬季競技の枠を超え、そのまま冬季大会の選手にエールが直接届けられたことではないかと思えます。

競技を振り返れば、スキー、スケートのみならず、すべての選手が頑張ってくれました。中でも旗手を務めた渡部暁斗選手の、3大会連続メダルとなる個人での銅メダルに加え、弟の善斗選手、永井選手、山本選手と共に、私自身も出場した1994年のリレハンメル大会以来となる、団体での銅メダルにつながったことは、選手団としてはもちろんのこと、個人的にも本当嬉しいことでした。また、メダルに届かずとも、多くの選手が最高のパフォーマンスを目指し果敢に挑む姿、それを国内のみならず海外の選手が称え合うという光景が随所に見られ、テレビの前で応援して下さっている皆さんにもオリンピックの魅力が届いたのではないかと思います。

残念ながら東京2020大会は無観客となりましたが、現在招致を目指す2030年の札幌大会では、ひとりでも多くの子どもたちに各会場での感動を伝えたいと強く感じています。



© PHOTO KISHIMOTO

## ●オリンピック(アルペンスキー)

猪谷千春 OLY ●オスロ、コルチナ・ダンベッツォ、スコーパーレ大会



コロナ蔓延により延期を余儀なくされた東京大会は昨年成功裏に開催され、世界のスポーツ界から多くの賛辞と感謝の言葉が寄せられた。パンデミックのなか採用された大会の運営方式は貴重なレガシーとしてIOCに引き継がれ、今年の北京冬季オリンピック開催の成功に繋がった。その大会では日本選手団が大活躍、獲得した18個のメダルは史上最多となり、我が国の冬季スポーツ発展に大きく貢献してくれた。他方残念だったことは、選手から審判に対するクレームが多かったことだ。関係IFは審判員の教育に努め、選手たちが安心して競技に集中できるよう努力して頂きたい。

## ●オリンピック(スピードスケート)

黒岩敏幸 OLY ●アルペールビル、リレハンメル、長野大会



北京冬季オリンピックには、ジャパンコンソーシアム(JC)の一員として参加し、スピードスケート競技短距離解説を行いました。東京オリンピックで確立された新しいオリンピックスタイルのもと北京冬季オリンピックも実施され、すべての関係者が厳しい行動制限でした。その中、日本選手の活躍は、心を動かす素晴らしいものがありました。スポーツの価値の大切さと、選手への敬意を改めて感じたオリンピックとなりました。

## ●オリンピック(スピードスケート)

石野枝里子 OLY ●トリノ大会



2021年は東京、2022年は北京と同一年度に夏季・冬季のオリンピックに関わりました。それぞれメディア対応、選手団本部という役割でしたが、共通して感じたのは影ながらアスリートを支えてくれている人たちが想像以上に多くいるということでした。改めて支えてくれている人たちへの感謝の気持ちを忘れてはいけなと感じました。私も現役時代に支えられていたように、次はオリンピックやアスリートを支えられるようにしたいと思います。そして、オリンピックとしてもスポーツの価値を高められるよう貢献していきたいと思っています。

## ●オリンピック(カーリング)

山口剛史 OLY ●平昌大会



私は北京冬季オリンピックにテレビのカーリングコメンテーターとして行ってきました。空港に降り立った時から会場まで、コロナ禍での開催は異様な雰囲気がありました。様々なボランティア、各国メディアや運営・競技スタッフ、そして選手までがこのオリンピックという場所を通し、一致団結して素晴らしい舞台を作り上げており、これこそがスポーツの良さだと改めて感じました。カーリング女子は、銀メダル獲得という好成績を残し日本の歴史をまた更新しました。私自身も次は選手として日本男子初となるメダル獲得を目指したいと思います！

# 北京2022パラリンピック冬季競技大会

## ●パラリンピアン(パラアルペンスキー)

### 村岡桃佳 (日本代表選手団主将)

「前回大会金メダリスト」という立場で迎えた今回の北京パラリンピックは、今までにないほどのプレッシャーと自身の期待感との戦い、そして、日本選手団主将という立場に対する大きな責任の中で臨んだ大会でした。私は、チーム内で最年少という期間が長かったこともあり、これまでは先輩方の背中を見て競技を続けてきたため、集団の中で先頭に立つという経験がほとんどありませんでした。そのため、自分にできることは何か、主将という大役を自分が果たせるのかと大きな不安を抱えていましたが、悩み、考え、「主将として金メダルを獲得することで、日本チームを勢いづけたい」という想いにたどり着きました。結果、日本選手団第一号の金メダルを獲得することができましたので、この私なりの方法が少しでも日本選手団をけん引することにつながっていたのであれば、嬉しい限りです。

スポーツには、大きな力があります。特にパラリンピックは、障がいを抱えた人達が、障がいを超えて競い合う場所であり、そこには選手一人一人のストーリーがあります。覚悟を持って競技に臨んでいます。そのような選手の姿が誰かの活力になる、それこそがパラリンピックの価値であると感じておりますし、我々選手としても嬉しく思います。



## ●パラリンピアン(パラノルディックスキー)

### 川除大輝 (日本代表選手団旗手)

今大会の北京パラリンピックは日本代表の旗手として選出され、光栄な気持ちで臨んだパラリンピックでした。また、メダルを有力視される選手として、旗手として多くの注目が集まる中で大会でしたが、不思議とプレッシャーを感じず自分自身の取り組んできたことに集中することができた大会でした。結果として、金メダルを獲得することができ、これまでやってきたことを発揮することができるという自信にもつながりました。この経験が今後の成長に欠かせないものになると思います。さらにそれだけではなく、今回のパラリンピックはコロナ禍や世界情勢が不安定な状況での開催でしたが、どんな時でも支えてくださる方々がいたからこそ、ここまで来ることができました。大会後、日本に帰国したときに周りからの支えがこんなにも大切だったということ改めて感じました。スキーができていることに幸せに感じながら周りの方々へ感謝し、恩返しの意味も込め4年後のパラリンピックを見据えながら、ワールドカップ、世界選手権で金メダルを獲得したいと思います。そして、世界で勝ち続けられる選手になりたいと思います。

応援宜しくお願いいたします。



すべて© PHOTO KISHIMOTO

つなげています  
スポーツへの想い

スポーツの収益は、  
日本のスポーツを育てるために  
使われています。

スポーツ BIG

# 2030年オリンピック・パラリンピック冬季競技大会招致

札幌市はJOCとともに2030年オリンピック・パラリンピック冬季競技大会(以下、2030年大会)の招致を目指し、さまざまな取り組みを進めています。



## ■先の未来を見据えた札幌ならではの大会に

札幌は1972年大会を契機に都市整備を推進、国際観光都市としての地位を確立し、オリンピックをきっかけに国内有数の都市にまで成長。また国際大会開催の実績と競技施設を持ち、市民にウィンタースポーツ文化が根付くまちになりました。

1972年大会から50年。2030年大会は「札幌らしい持続可能なオリンピック・パラリンピック～人と地球と未来にやさしい大会で新たなレガシーを～」を大会ビジョンに、これまでに積み上げてきた歴史や文化都市機能と自然の調和等が多面的に「つながる」大会の実現を目指します。

## ■札幌から広がるレガシー

大会の開催をきっかけに様々な取り組みが進むことで多くのレガシーを残し、開催地だけではなく広く世界中に多くのメリットがもたらされることにもつながっていきます。

2030年大会が50年後、100年後のより良い未来への礎となるよう、昨今の社会情勢の変化を踏まえ、大会によって促進される4つの分野(「スポーツ・健康」「経済・まちづくり」「社会」「環境」)ごとに意義やレガシーを再構築しました。

## ■招致実現に向けて

招致成功には、機運醸成を推進していくことが何よりも大切です!! 札幌、北海道はもとより全国、さらには世界に向けて、大会の開催意義や価値を伝え、多くの理解と共感を得ながら、オールジャパンで招致機運を高めることを目的に、札幌市とJOCは「北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピックプロモーション委員会」を設立し、様々な招致活動に取り組んでいます。



オリンピックデーラン士別大会での招致PR



国立競技場の東京2020大会1周年記念イベントでの招致PR

2030年大会の招致実現には多くの皆さまの理解と応援が不可欠です。2030年招致に向けた温かいエールと後押しをお願いいたします!!

2030年大会招致に関するより詳しい情報は下記URLまたは右のQRコードからご覧いただけます。  
<https://winter-hokkaido-sapporo.jp/>



# 日本オリンピックミュージアム

## ■施設紹介文

日本のオリンピック・ムーブメントの発信拠点としてJOCが開設しているミュージアムです。館内では様々な展示物や映像などを用いて、オリンピックの価値を体感することができます。2022年6月23日には、東京2020大会の資産を活用し、大会のレガシーや大会で生まれたオリンピズムを後世に広く継承するため、2階「エキシビジョンエリア」の展示更新を行いました。

© PHOTO KISHIMOTO



「エンディングコーナー」にみんなのオリンピックを象徴する東京2020大会のエピソードを追加しました。

## ■施設概要

住所: 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 1・2F

営業時間: 10:00~17:00(最終受付16:30)

入場料金: 一般/500円、シニア(65歳以上/要証明書)/400円、高校生以下(要学生証)/無料

※オリンピックご本人は無料(受付にお申し出ください)

電話番号: 03-6910-5561

公式サイト: <https://japan-olympicmuseum.jp/jp/>

※ご入館にあたってはミュージアムWEBサイトより入館事前予約が必要です。



「日本とオリンピック」コーナーには東京2020大会の展示を追加しました。



## 令和4年度オリンピック巡回指導事業(スポーツ振興くじ助成事業)

コロナ禍で昨年度まで開催を見送っていましたが、本年度は事業を再開。全国4会場で開催いたします!!  
令和5年度の開催地募集は今後OAJ公式LINEやウェブサイト・SNSでご案内予定です。

共催	開催地	会場	開催日	競技
シンコースポーツ株式会社	大阪府(茨木市)	五十鈴市民プール	11月3日	競泳
公益財団法人深谷市地域振興財団	埼玉県(深谷市)	深谷市総合体育館	11月26日	バドミントン
スポーツ青い森グループ	青森県(青森市)	新青森県営陸上競技場	12月4日	陸上競技
神戸総合型地域スポーツクラブ 六甲すこやかクラブ	兵庫県(西宮市)	関西学院大学	3月開催予定	水球

## The Olympians' Online Reunion～オリンピック同窓会～

北京2022冬季大会開催期間中の2022年2月5日(土)、2回目となるオンラインイベント「The Olympians' online Reunion～オリンピック同窓会～」を開催。冬季オリンピックによるリレートークでは、札幌オリンピックミュージアムと中継でつなぎ施設紹介や2030年大会の招致活動についてご紹介いただきました。



イベントの様子は、OAJのYouTubeチャンネルでアーカイブがご覧いただけます。

### Guest

平松純子 OLY(フィギュアスケート)  
'60スコパレー、'64インスブルック  
青井富雄 OLY(クロスカントリー)  
'72札幌  
鈴木靖 OLY(スピードスケート)  
'84サラエボ  
三宮恵利子 OLY(スピードスケート)  
'98長野、'02ソルトレークシティ  
山口剛史 OLY(カーリング)  
'18平昌

## 折れ剣再生プロジェクト～WOA Grants受賞～



©日本スポーツSDGs協会

2022年WOA GrantsのService to Society Grant部門でOAJが申請した「折れ剣再生プロジェクト」が選ばれました。

この事業はフェンシングの見延和靖選手('16リオデジャネイロ、'20東京)が発起人として立ち上げたプロジェクトで、日本代表選手の折れてしまったフェンシング剣を回収し、見延選手の地元、福井県越前市の地場産業の工場で、子どもたちの大会のメダルなどに再加工。複数年かけ、最終的には初心者向けの



©日本スポーツSDGs協会/山本拓未

フェンシング剣を制作することをゴールに、未来のフェンサー・フェンシング界がさまざまな場面で活用できるリサイクルを目標としています。

# Be OLY



OLYはオリンピックに出場したオリンピックのみが使用できる称号で、スポーツにおける博士号に相当し、SNSや履歴書、名刺などで氏名に併記することができます。

オリンピックに有益な情報も届くようになりますので、まだ取得されていない方はぜひご申請ください！

また、OAJの会員でOLYの認証を受けた方には、限定のOLYピンをお送りしています。



OLYの詳細やOLYピンの申請方法についてはQRコードやOAJのHPにあるリンクバナーからご確認いただけます。

※OLYの対象はIOCに出場記録がある方のみのため、公開競技のみの出場やモスクワ大会の選手団の皆様、役員・スタッフ等で参加された方対象外となっております。

OLYについて

<https://www.oaj.jp/news/180426/>



OLYピン

<https://www.oaj.jp/news/180925/>



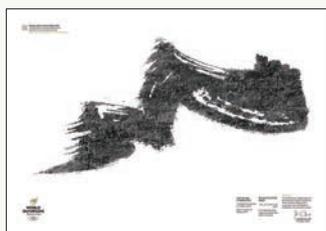
## Grants Programme

WOAはNOAの活動や事務費用をサポートするNOA Development Grant、オリンピックの社会貢献をサポートするService to Society Grant、オリンピックのキャリア形成などをサポートするService to Olympians Grantという3つの助成を行っています。

2022年度OAJはNOA Development Grantに加え、Service to Society Grantにも選ばれました！（受賞事業については6Pで紹介。）

2023年度のGrants申請にあたり、オリンピックの皆さまから企画を募集、選考しWOAに申請する予定です。今後OAJのHPやLINE公式で情報を発信しますのでご確認ください。

## OLY HOUSE Beijing 2022



東京2020大会に続き、オンライン上で様々なイベントが展開されました。それぞれの様子はWOAのHPでご確認いただけます。

<https://olympians.org/oly-house/>



## #Olympians for Ukraine

WOAはウクライナオリンピック協会からのメッセージを受け、10万スイスフラン（生存オリンピック1人につき1フラン）を目標にし、寄付を募っています。

この寄付金はウクライナのオリンピックコミュニティを支援し、スポーツを再建するために使われます。詳細はWOAのHPをご確認ください。

<https://olympians.org/news/1688/please-donate-now-to-olympiansforukraine/>



その他にも様々なオリンピックを対象にしたプログラムやイベントが展開されています。情報はWOAのHPやSNSにアップされますので是非ご確認ください!!

## 『オリンピアンの皆様の近況報告』大募集!!

OAJでは、オリンピアンの情報交換ツールとして本誌をはじめウェブサイト、SNSをより一層活性化されたものにするため、オリンピアンからの近況報告やイベント告知を募集いたします。

お寄せいただいた近況報告や画像などは、OAJの各種媒体でご紹介させていただく予定です。皆さまの「News」をOAJまでお気軽にお寄せください!!

### ◆募集内容(活動報告やイベント告知など)

- ・殿堂入りや授章について
- ・SDGsへの取り組み・活動
- ・現在関わっているスポーツについて
- ・ご自身がかわるイベントや大会について
- ・オリンピアンとの交流イベント

その他、オリンピアンと共有したい情報などがございましたらご連絡ください!!

### ◆応募方法

メール本文にお名前・出場大会・競技をご記入の上、寄稿文やお写真などを添付いただき、下記メールアドレスに送信してください。

件名▶ OAJ近況報告(お名前)

宛先▶ oaj.office@oaj.jp

- ・寄稿文はメール本文でもデータ添付でもどちらでも構いません。
- ・SNSなどシェアできるものがあればリンクなどもご記入ください。

## OAJ会員情報

日本のオリンピアン総数は北京2022冬季大会後4,812名(モスクワ大会日本代表を含む)となりました。そのうち、2,127名のオリンピアンが正会員としてOAJにご登録いただいています。入会されていないオリンピアンが身近にいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください!

## 令和4年度総会について

例年3月に開催しております「特定非営利活動法人日本オリンピックアスリート協会 総会」は、開催方法を検討し、決まり次第会員の皆様にご案内させていただきます。(総会と同日に開催しております「懇親会」は、別途「オリンピアンが集い」を開催するため、本年度の開催はございません。)

## 日本オリンピックアスリート協会 SNS・ウェブサイトのご紹介



OAJ公式ウェブサイト

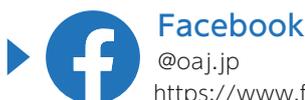
<https://www.oaj.jp/>



Instagram

@日本オリンピックアスリート協会

[https://www.instagram.com/olympians\\_japan/](https://www.instagram.com/olympians_japan/)



Facebook

@oaj.jp

<https://www.facebook.com/oaj.jp/>



YouTube

@日本オリンピックアスリート協会



LINE

@日本オリンピックアスリート協会



OAJやWOAについて様々な情報を発信していますので、ぜひチェックしてください!!

『登録・フォロー・いいね』もぜひお願いします!!